

生活単元学習指導案

授業者 高橋真帆 (T1) 石丸恵理子 (T2) 坂本幸太郎 (T3) 高橋奏美 (T4)

1. 日時 平成 29 年 (2017 年) 2 月 15 日 (水) 5 校時
2. 対象 5 組・6 組児童 計 16 名
(1 年生 1 名、2 年生 3 名、3 年生 3 名、4 年生 7 名、5 年生 1 名、6 年生 1 名)
3. 場所 5 組教室、6 組教室、プレイルーム
4. 単元名 「お別れ校外学習に行こう！」
5. 単元目標
 - ・校外学習に必要な情報を集め、整理することができる。
 - ・集めた情報を手がかりにして、次の学習の機会に活用しようとするすることができる。

6. 生活単元学習について

5・6 組の児童は、知的障害学級 6 名、自閉症・情緒障害学級 10 名で構成されている。障害種別の特性は個々に持ち合わせているが、支援体制の問題から生活年齢で学級を編成し、1～3 年、4 年を 5 組、4～6 年を 6 組としている。

特別支援学級では、特別支援学校小学部の学習指導要領に基づいて教育内容を設定してよいことになっており、各教科 (生・国・算・音・図・体)・道徳・特別活動に加え、『自立活動』という領域が設定されている。『自立活動』とは、子どもの障害や発達の違いに対する指導で自立した生活を目指すために、「健康の維持」「心理的安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」の 6 区分の中から、児童の実態に即し個別に計画し指導している。

また、特別支援学級は、教科・領域を合わせた指導で、児童の実態に迫った指導を行うことができる。今回取り組む「生活単元学習」は、児童の生活上の課題処理や問題解決のための一連の目的活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。「生活単元学習」は「行事単元」「季節単元」「生活課題単元」「制作・生産単元」の 4 タイプがあり、今回は生活課題単元と行事単元を関連付け、活動に必要な情報を収集し、整理し、活用していく内容を考えた。

7. 児童の実態

児童一人一人の興味関心、情報の理解の程度 (文レベル・単語・マーク)、注意の集中、友だち・教師とのコミュニケーションの状況及び社会性に関して、児童の実態を把握してみた。表をもとに児童の実態を整理した結果、グループ編成、課題や環境を整理し、取り組むことが必要ということがわかった。

グループ	児童	興味関心	情報の理解	注意の集中	コミュニケーション	社会性	
						行動調整	ルールの理解
A	a6年男	ゲーム、絵	文レベル	○	言語による会話	○	◎
	b5年男	電車、犬	文レベル	○	言語による会話	○	○
	c4年男	買い物	文レベル	◎	言語による会話	○	◎
	d4年男	パソコン	文レベル	○	言語による会話	○	◎
	e4年男	ゲーム、食べ物	文レベル	○	言語による会話	○	◎
B	f4年男	ゲーム、水泳	文レベル	○	言語による会話	○	○
	g4年女	人形	単語	△	言語による会話	○	○
	h3年男	ゲーム	文レベル	○	言語による会話	△	○
	i2年女	造形あそび	単語	○	言語による会話	○	○
	j4年男	車、ゲーム	文レベル	△	言語による会話	△	△
	k3年男	ゲーム、乗り物	文レベル	△	言語による会話	△	△
	l1年男	電車、魚	単語	○	言語による会話	○	◎
C	m4年男	電車、音	マーク	△	言語・身体表現による理解	△	△
	n3年男	ゲーム	単語	○	言語による会話	○	○
	o2年女	買い物	マークと一部単語	○	言語・身体表現によるやりとり	○	○
	p2年男	テレビ	単語	○	言語による会話	△	○

【評価規準】 ◎：よくできる・わかっている ○：時々できる・少しわかっている △：課題が多い

8. 単元について

第1次では『行き先・行き方・メンバー・ランチのメニューに関する意思表示』、第2次に『活動に必要な情報の収集』、第3次に『実行・振り返り』という流れで単元を構成することにした。

第1次では、児童が乗りたい乗り物、見学したい場所、一緒のグループになりたい友だち、ランチで食べたいメニューなど意向調査から学習を始めた。児童が自分自身で選択する中で学習を進めていく。教師はアンケートをもとに、児童の意向を確認した。今回は、お別れ校外学習ということもあり、卒業・転出する児童の希望を優先した。全員の希望を全て平等に通すことは難し

いが、最低でも希望が1つは通るように調整した。

第2次の『活動に必要な情報の収集』では、校外学習に必要な情報（見学場所の概要、行き方、電車の料金表、電車の路線図）を集めていく。子どもたちを「情報の収集を行うグループ（Aグループ）」、「電車の料金表を作成するグループ（Bグループ）」、「路線図を作成するグループ（Cグループ）」の3つに分けた。Aグループは、インターネットで見学場所を検索し、文章を見ながら必要な情報をまとめていく。Bグループは、京急線・みなどみらい線・JR線の大人の料金表から大人の料金を読み取り、10円玉を使って半分に分け、子どもの料金を求め、料金表をまとめる。Cグループは、京急の駅名と快速特急の停車駅を聞いて書いて、路線図にまとめる。今回は、電車の停車・発車駅をイメージしやすくするため、列車接近案内音を用い、京急線が大好きな児童に漢字の駅名を読ませ、他児童の情報源とする。さらに、車内アナウンスの停車駅案内を聞いて、快速特急の停車シールを路線図に貼る。グループでの活動を報告し合った後は、お別れ校外学習のしおり作りを行い、収集した情報を用いて、校外学習に必要な情報を活用していく。

第3次の『実行・振り返り』では、お別れ校外学習に行き、実際の料金表や路線図を見て、調べた駅名・料金を確認したり、見学施設の様子を確認したりする。校外学習に行った後は、感想を書き、発表する等して振り返りを行う。これらの取り組みを通して、集めた情報に加えて、実際に体験できたことで、情報の意味を再認識し、自律的に行動できる基盤を育てていきたい。

9. テーマを具現化するための手立て

テーマ「豊かな学びを創り出す のびっ子の育ち」

サブテーマ「～支援教育の視点を取り入れた わかる授業づくり～」

(1) 体験の重視

①本物の活動

生活単元学習では、児童の興味関心を重視することが必要で、生きる力の根底にある考える力・意欲を伴う主体的行動を育むことを目指す。本単元でも、実際の音・表示・教材を使いながら取り組み、実際の場面へとつなげていく。

②繰り返し行う

初めての活動には不安を覚え、どのように取り組んでよいか分からなくなってしまう子どももいる。初めて行う活動については、モデルや活動の手順を示し、繰り返し行うようにする。活動の手続きを整理し、ルーティン化することで活動に見通しを持つことができるとともに、以前の経験を生かして問題を解決しようとする考える。

(2) 言語活動の重視

①情報機器の活用

パソコン、タブレット、拡大器、プロジェクター、BGMを活用し、視覚・聴覚情報を手がかりに情報の収集ができるよう、工夫した。

②グループでの活動

3～5人のグループで行い、実態に応じて役割分担をすることができるようにした。困った時に別のグループの友だちに聞いたり、情報を共有したりできるように促していく。

③教材の工夫

【Aグループ】

- ・最寄駅・お金・時間・見学先の見所など必要な情報をまとめ、振り仮名をふったパワーポイントの作成（インターネットでの検索は情報量が多く、情報がしぼりきれず、読める漢字が少ない状況があるため）
- ・検索方法の手順をまとめたマニュアルの作成（パソコンでの検索の仕方に慣れていない児童もいるため）
- ・キーボードカバーにひらがなシールを貼る（キーボードの平仮名に注目させ、かな入力をしやすくするため）
- ・ローマ字変換表（ローマ字入力をしやすくするため）

【Bグループ】

- ・手順表（手順に見通しを持たせるため）
- ・京急線・JR線・みたとみらい線の駅名と大人の料金を50音順に並べた表（大人の料金を読み取りやすくするため）
- ・10円玉の活用（お金を操作しながら子ども料金を考えられるようにするため）

【Cグループ】

- ・普通、特別急行、快速特急、それぞれの路線を色分けした路線図
- ・快速特急の停車駅に貼る黄色いシール
- ・車内放送の活用（停車駅と停車駅との間に間をあけたり、ゆっくりはっきり読んだりすることで、快速特急の停車駅を聞き取りやすくするため）
- ・駅名の読み仮名カード（駅名を読む児童が正確に発音できるように準備するため）
- ・京急線の駅の列車接近案内音「レントラー舞曲」（駅名を読む児童が読むタイミングを意識しやすいうようにするため）

10. 指導計画（7/18時間）

学習活動の流れ	時間	教師の指導・支援
第1次 『行き先・行き方・メンバー・ランチのメニュー決定』		
アンケートⅠ 「何に乗りたいですか？」 「どこを見学したいですか？」 「いっしょのグループになりたい友だちを書きましょう」	2h	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンを見て、見学先と乗り物の候補を知り、アンケートに答える。 ・子どもの希望と実態に応じて校外学習に行くグループ分けを行うようにする。
アンケートⅡ 「どれを食べたいですか？」		

第2次 『活動に必要な情報の収集』 本時 6/9 h		
<u>見学場所の情報収集 (Aグループ)</u>	6 h	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる場所を分担し、協力して活動できるように声かけする。 ・情報を収集しやすいように、調べ方のマニュアル、かな入力を活用する。
<ul style="list-style-type: none"> ○見学場所の情報（最寄り駅・料金・開館時間・見所）を表にまとめる。 ・パソコン、インターネットの使い方を知り、慣れる。 ・見学場所をインターネットで調べる。 ・調べたことをメモに書く。 ・調べたことをまとめて、発表する。 		
<u>料金表の作成 (Bグループ)</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ○目的地までの子ども料金を表にまとめる。 ・駅名の読み仮名を聞く。 ・京急線の大人の料金表を見て、自分が担当する駅の大人の料金を探す。 ・大人の料金を半分にして、子どもの料金を求める。 ・調べたことをまとめて、発表する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童に応じて課題を設定する。 ・10円玉を大人の料金分用意し、半分にわけよう、声かけする。
<u>路線図の作成 (Cグループ)</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ○京急線の駅名を表にまとめる。 ・京急線の駅名を聞いて覚えて書く。 ・快速特急停車駅のアナウンスを聞いて、停車駅に印をつける。 ・調べたことをまとめて、発表する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童に応じて課題を設定する。 ・グループ毎に取り組み、経過及び結果を共有する。
<u>しおり作り</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを活かして、校外学習に必要な情報をまとめる。 	3 h	<ul style="list-style-type: none"> ・分からないことがあるときは、別のグループの友だちに尋ねるようにする。
第3次 『実行・振り返り』		
<u>お別れ校外学習に行く</u>	6 h	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の料金表・路線図を見せ、確認させる。
<u>振り返り</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習の目標に対する自己評価と感想を書く。 ・今までの取り組みを報告する。 	1 h	<ul style="list-style-type: none"> ・目標（自分のこと・グループの友だちのこと）が達成できたか、確認する。

1 1. 本時計画

(1) 本時目標

- ①グループごとに見通しを持ち、意欲的に調べ学習ができる。
- ②調べ学習に一生懸命取り組み、得た情報を友だちの前で発表することができる。

(2) 個人目標 (肩に表示を貼っている)

グループ	児童	個人目標	評価
Aグループ 見学場所の 情報	a	校外学習に行くために必要な情報を探して、まとめることができる。 友だちからの質問を聞いて、わかりやすく説明ができる。	
	b	校外学習に行くために必要な情報を探して、まとめることができる。 自分のやるべきことを理解し、集中して活動することができる。	
	c	手順表を読みながら必要な情報を探して、文字を正しく書き表すことができる。	
	d	校外学習に行くために必要な情報を探して、文字を正しく書き表すことができる。	
	e		
Bグループ 料金表の 作成	f	手順表を読んで、手順通りに子ども料金を出し、表にまとめることができる。 分からないことは自分から友だちに聞くことができる。	
	g		
	h		
	i	手順表通りにやるべきことに集中し、子ども料金を出し、表にまとめることができる。	
	j		
	k		
l	分からないことがあったら、自分から先生や友だちに質問し、料金表を作ることができる。		
Cグループ 路線	m	友だちに駅名を伝えることができる。	
	n	友だちが言った駅名を聞いて、促音や拗音に気をつけて、聞いたとおりに書くことができる。	
	o	友だちが言った駅名を聞いて、聞いたとおりに書くことができる。	
	p	友だちが言った駅名を聞いて、聞いたとおりに書くことができる。	

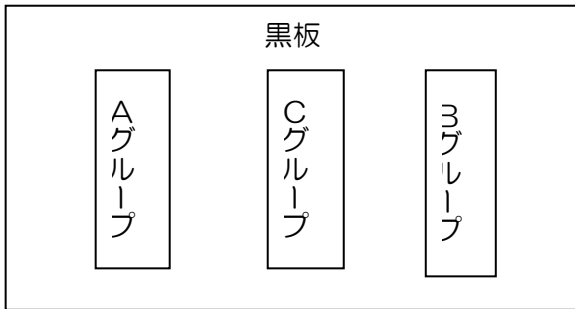
(3) 本時の流れ

課題のねらい	学習活動	支援の手立て	備考
<p>学習態勢の形成 見通しを持つ</p>	<p>1. あいさつをする。(6組) 2. 今日の予定を知る。 Aグループ 見学場所の情報収集 Bグループ 料金表の作成 Cグループ 路線図の作成</p>	<p>・これまでの学習内容を確認する。 ・グループの支援 T1・T2：Bグループ T3：Cグループ T4：Aグループ ・座席を提示し、移動できるようにする。</p>	<p>座席表</p>
<p>おわかれ校外学習にひつようなじょうほうをあつめよう！</p>			
<p>友だちとの関わり 情報の収集・整理 PCの扱い方</p>	<p>3. グループごとに情報収集をする。 【Aグループ(児童a b c d e)】 ①調べ方の確認をする。 ②見学場所を調べる。 児童 a,e: カップヌードルミュージアム 児童 b,c: 原鉄道模型博物館 児童 d: 人形の家 ③見学場所の情報をメモに書く。 ④メモをまとめる。 ⑤発表の練習をする。</p>	<p>・必要な物がそろっているか確認する。 ・記入の仕方が分からない時は、友だちに聞くなどの手立てを伝えておく。 ・インターネットの情報を読む児童と書き取る児童とに分担し、交代で調べるようにする。</p>	<p>PC2台 タブレット 調べ方マニュアル 平仮名シール ローマ字表 メモ 調査書(見学場所ごとに1枚)</p>
<p>友だちとの関わり 情報の取捨選択 金銭の扱い 情報の整理</p>	<p>【Bグループ(児童f g h i j k l)】 ・プレイルームに移動する。 【児童f g h i】 ①大人・子ども料金を値段ごとまとめて書く。 ②京急線の路線図に貼る。 ③JR線の料金調べをする。</p>	<p>・必要な物がそろっているか確認する。 ・見やすく大きく書くよう促す。 ・手続きや支援方法は、みなとみらい線と同様。</p>	<p>手順カード 大人の料金表(京急線・みなとみらい線・JR線) 駅名・料金カード</p>

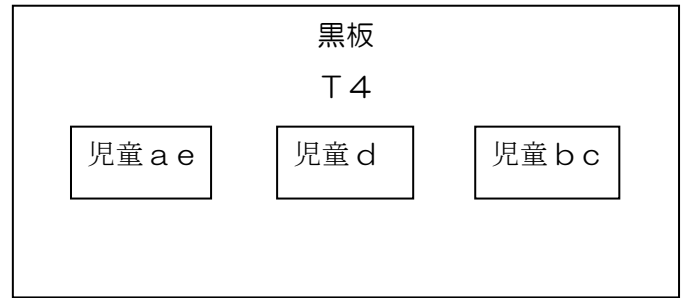
<p>友だちとの関わり 情報の取捨選択 金銭の扱い 情報の整理</p>	<p>【児童 j k l】</p> <p>①みなとみらい線の駅の読み仮名を聞く。</p> <p>②大人の料金表を見て、自分の調べたい駅を探す。</p> <p>③調べた駅の料金を半分にわって、子どもの料金を求める。</p> <p>④料金表にまとめて、表に貼る。</p>	<p>・必要な物がそろっているか確認する。</p> <p>・児童によって、聞いて覚えて書く力に差があることを考慮し、駅名を分担する。</p> <p>・あまりの扱いは、手順表を読んで確認させる。</p>	<p>10円玉 トレー 子どもカード 小皿 ふせん 表 両面テープ</p>
<p>情報の共有 状況に応じた話し方 情報の聞き取り 正しい表記</p>	<p>【Cグループ(児童 m n o p)】</p> <p>・5組に移動する。</p> <p>①リーダー(児童 m)が駅名を読み上げる。</p> <p>②駅名を聞き取り、ワークシートに書く。</p> <p>③ワークシートを路線図の表に貼る。</p> <p>④快特停車駅のアナウンスを聞き取って、ワークシートの快特停車駅に黄色シールを貼る。</p>	<p>・場所によって作業を分ける。「書く」「読む」「尋ねる」</p> <p>・電車接近音を使い、駅名を読むタイミングを明確にする。</p> <p>・発音が不明瞭な場合は教師の方で補足する。</p> <p>・聞き取って書いた駅名に誤りがあった場合は児童mが書いた駅名と比べさせる。</p> <p>・一人ずつ、調べたことを自分の言葉で伝えられるようにする。</p> <p>・終了しなかった場合、停車駅は後日取り組む。</p>	<p>CD 「6つのレ ントラー舞 曲第一弾」 CDデッキ ワークシ ート(路線図) 目隠しカード 駅名カード 表 両面テープ</p>
<p>情報の共有 人前での発表</p>	<p>5. 活動を発表する。</p> <p>C: 聞き取った駅を1駅ずつ発表する。</p> <p>B: 調べた料金を1駅発表する。</p> <p>A: 調べた情報を発表する。</p> <p>6. あいさつ、片付けをする。</p>	<p>・各グループのよかったところを伝え、次への意欲を高める。</p>	

(4) 座席図

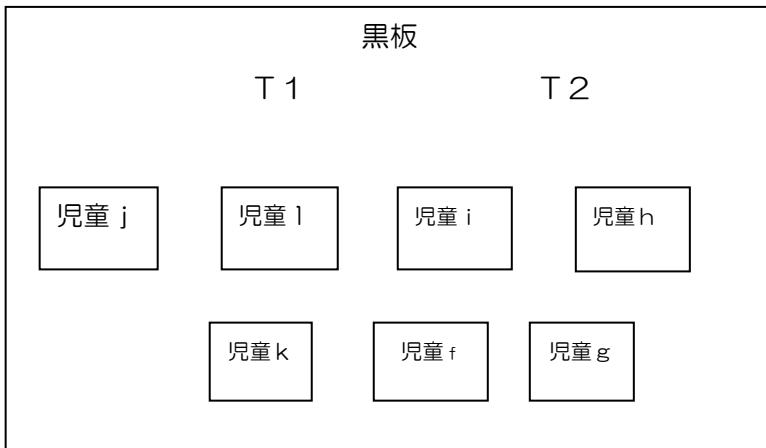
6組 全員集合時



6組 Aグループ



プレイルーム Bグループ



5組・Cグループ

